

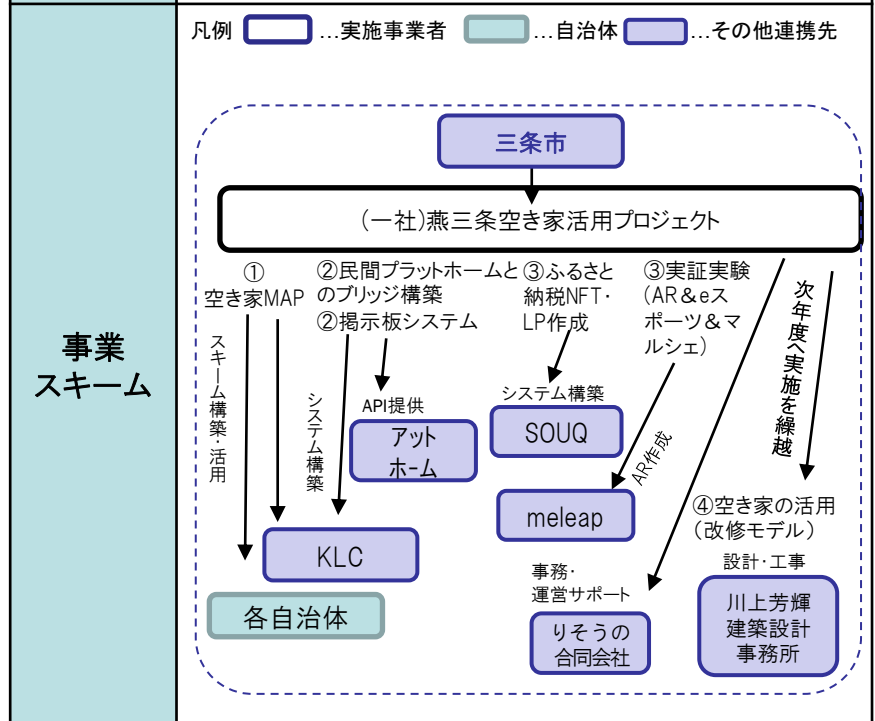
一般社団法人燕三条空き家活用プロジェクト

| | |
|-------------|--|
| 事業概要 | ・空き家のデータベース化「空き家MAP」・空き家活用希望者とのマッチングツールの開発・商店街の空き家の活用(試行)による意識醸成と活用方法の検討・商店街の空き家の活用(改修モデル)の設計及び改修工事の実施 |
|-------------|--|

事業者情報

| | |
|-------------|---|
| 団体名 | 一般社団法人燕三条空き家活用プロジェクト |
| 所在地 | 新潟県三条市神明町5-3 |
| 設立時期 | 2022年10月 |
| 団体HP | https://tsubamesanjo-akiya.jp/ |

| | |
|-------------|--------|
| 活動地域 | 新潟県三条市 |
|-------------|--------|



**事業
スキーム**

取組内容及び成果

- ① 三条市と連携した空き家MAP及びデータベースの構築
 - a. 自治会から空き家情報を収集(約1,500件)
 - b. 空き家MAP構築・初期データ登録
 - c. 自治会の空き家管理スキームの構築
 - d. 自治会へのフィードバック・活用と検証



- ② 空き家活用希望者とのマッチングツールの開発
 1. 三条市空き家バンクから民間プラットホーム(アットホーム、フィールドマッチング)へのブリッジの構築
 2. 空き家所有者と利活用希望者をつなげる掲示板システムの制作



- ③ 商店街の空き家の活用(試行)による意識醸成と活用方法の検討
 1. 空き家を活用した実験と検証(AR&eスポーツ&マルシェ)開催
 2. ふるさと納税空き家体験NFT構築とLPの作成



- ④ 商店街の空き家の活用(改修モデル)の設計及び改修工事の実施を考えていたが、震災の影響などで、次年度へ実施を繰越

①三条市と連携した空き家MAP及びデータベースの構築

全自治会へのローラー作戦で空き家情報を収集

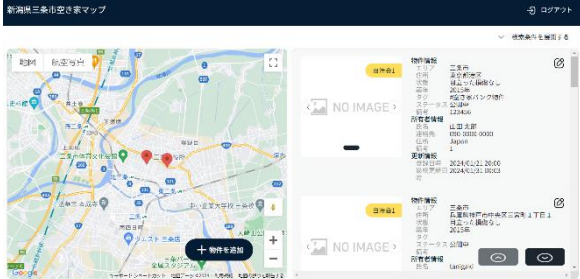
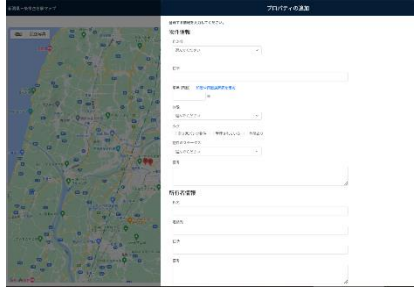
- ・既存の紙ベースの物件情報をチェック
- 物件所有者へ物件照会・ヒアリング
- 物件所有者へ登録の許可をとる

空き家情報
約1,500件

空き家MAP構築・初期データ登録

構築ポイント
三条市自治会
が使いやすいUI

- ・シンプル
- ・見やすさ
- ・入力は最低限



自治会の空き家管理スキームの構築

- ①自治会が空き家所有者から「管理の一部委託書」を取得
- ②自治会長・民生委員にて空き家MAPを更新
- ③庭の手入れ、危機管理など、自治会で対処可能
- ④将来的は、自治会独自で空き家マッチングの仕組みを構築し、「小規模バンク化」を目指していく。



目的

空き家MAPおよび空き家データベースを作成し、自治会が自分たちでリアルタイムに空き家情報を管理できるようにする

概要

全自治会から空き家物件の情報を収集蓄積する。データベースを管理するため、空き家MAPシステム・運用スキームを構築する。「三条市の自治会が使いやすいUI」とする

成果

全自治会へのローラー作戦※で空き家情報約1,500件を収集。空き家MAPシステムを作成し、収集したデータを落とし込んだ。

※「全自治会へのローラー作戦」の成果
三条市内全222自治会への悉皆調査を実施。市と連携し、初となる自治会への聞き取りを基にした現地調査を行った。

- 自治会による把握・適正管理を啓発
- その後空き家バンクへの相談が急増
- 継続調査には空き家の定義も課題

・セミナーに足を運んだことのない市民や自治会に対しても空き家対策の身近さや重要性を啓発できた。来年度は自治会と次の展開へ進める。

②空き家活用希望者とのマッチングツールの開発

三条市空き家バンクから民間プラットホーム(アットホーム、フィールドマッチング)へのブリッジの構築



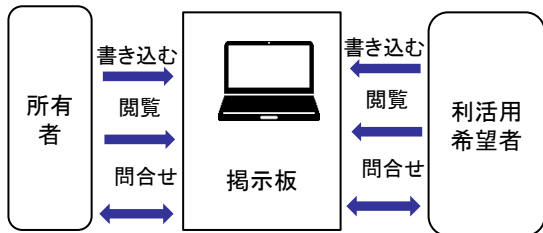
全国版アットホーム掲載画面



フィールドマッチング特設ページ

空き家所有者と利活用希望者をつなげる掲示板システムの制作

「借りたい・買いたい×貸したい・売りたい」掲示板
<https://sanjo-akiyabank.jp/freeboard/>



目的

空き家情報登録や更新の手間を軽減することで質の高い情報を集める。また物件所有者と利活用希望者を繋げるデジタル掲示板を作成、利活用希望者を見える化し、空き家活用を促進する。

概要

- ・空き家バンクと民間プラットホーム(アットホーム、フィールドマッチング)を連携する
- ・「借りたい・買いたい×貸したい・売りたい」掲示板システム構築。個人情報不要、シンプルな項目とすることでシステム利用のハードルを下げる。

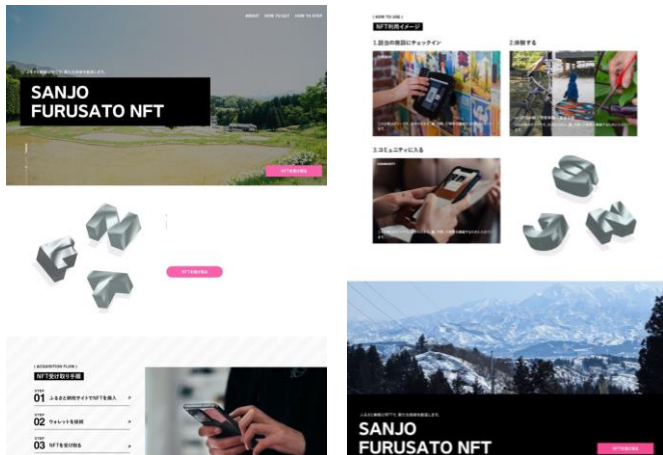
成果

・連携が完了。
 三条市の空き家バンク(<https://sanjo-akiyabank.jp/>)と民間プラットフォーム(アットホーム、フィールドマッチング)との連携により、空き家情報を同時に複数のルートでの流通に載せることが可能になった。

・マッチング掲示板を新たに空き家バンクメニューに組み込むことで、カジュアルに募集を行うニーズの獲得を行い、間口を広げる動きに繋がっている。

③商店街の空き家の活用(試行)による意識醸成と活用方法の検討

ふるさと納税「空き家体験」NFT構築と周知用LPの作成



ふるさと納税で寄付した方に、返礼品としてNFTを配布。空き家活用した物件の利用権や宿泊権として利用していただく仕組み。

NFTによる運用で、グローバルに関係人口としての流入を狙うと共に、デジタル管理、クーポン的な利用が可能となる。

参加のハードルを下げるため、ウォレットがなくともNFT取得ができるようスタート時の仕組みを簡易にした。

<https://sanjo-furusato-nft.com/>

空き家を活用した実験と検証(AR&eスポーツ&マルシェ)

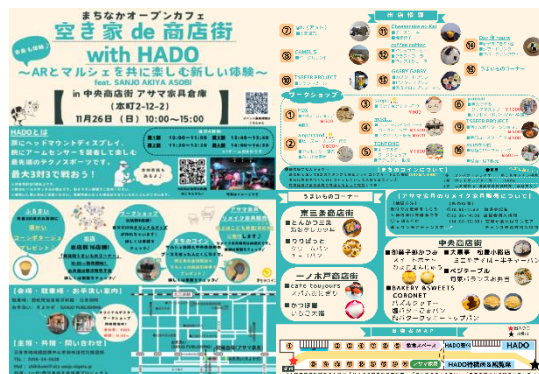
令和5年11月26日(日)商店街の空き家にてイベント開催

「まちなかオープンカフェ 空き家de商店街 with HADO」

HADO・・・ARを利用するテクノスポーツ

来場者
約 1000 人

報道
6 社



目的

既存の店舗の活用方法に縛られない新たな活用ニーズを喚起することを目的とする。

概要

- ・ふるさと納税空き家体験NFTを構築し、周知用LPの作成する。
- ・商店街の空き家を活用した実験と検証(AR&eスポーツ&マルシェ)を開催する。

成果

・NFTシステム構築、周知用LPが完成し、空き家利活用案件をNFTを使った宿泊や利用を行う仕組みを導入した。NFTを利用することで、グローバルかつ関係人口化に繋げ、観光のみならず、移住定住の第一歩への効果を狙っていく。

・市長を含め、地域内外の多様な方にご参加いただき、空き家利活用の可能性を提示することができた。隣の市から「空き商業施設コンテンツの参考にしたい」との声があった。メディアにも取り上げられ、他の空き家所有者への利活用啓発になった。